

金庫のあゆみ



大正

- 12・11 水俣町役場において創立委員会を開催
- 12・12 水俣信用組合設立認可申請
- 13・1 有限責任水俣信用組合の設立認可
- 13・2 第一回通常総会を永楽座にて開催
組合員総数 219 名、口数 719 口
組合長に戸星光三選任
- 13・3 役員会を開催し、専務理事小笠原作太郎宅
を事務所とし 4 月 1 日より事業開始を決
定
- 13・4 有限責任水俣信用組合として事業開始
- 13・7 臨時総代会を開き保証責任熊本県信用組合
連合会に加入。

昭和

- 2・10 戸星光三組合長辞任、宮田庄太郎組合長就
任
- 4・1 総会に代わる総代会を設ける
- 5・1 宮田庄太郎組合長辞任、深水吉毅組合長就
任
- 5・2 事務所を水俣町大字陣内松尾角蔵宅に移転
- 8・7 河川改修のため、事務所を水俣町大字江添
158 番地に移転
- 11・3 熊本県下産業組合大会において会長関屋
延之助閣下より表彰を授賞
- 11・7 保証責任水俣信用組合に組織変更
- 18・9 市街地信用組合法による水俣信用組合に組
織変更

昭和初期

昭和10年代

- 21・7 金融機関経理応急措置法により特別決算
- 22・7 再建整備法により旧勘定、新勘定の財産目
録、貸借対照表作成
- 22・8 庶民金融公庫の代表業務開始
- 23・3 再建整備法による最終処理認可申請の認可
- 24・4 水俣市丸島 2342 番地に丸島支店を開設
- 24・10 芦北郡佐敷町大字佐敷 245 番地に佐敷支
店を開設
- 25・4 中小企業等協同組合法による水俣信用組合
に組織変更
- 26・3 佐敷支店事務所を芦北郡佐敷町字下 255
番地の 1 に移転
- 26・10 信用金庫法により組織変更し水俣信用金庫
となる。理事長に深水吉毅就任
- 27・7 水俣市浜 2837 番地（現水俣市浜町 1 丁
目 1-1）に本店を移転
- 27・10 深水吉毅理事長逝去。松尾角蔵理事長就任
- 28・2 出資一口の金額を五百円に変更
- 28・11 中小企業金融公庫の代理業務開始
- 29・5 芦北郡津奈木町大字岩城 2130 番地に津
奈木支店開設
内国為替業務開始
- 33・12 調整勘定閉鎖認可
- 34・10 中小企業退職金共済事業団の代理業務開始
- 35・11 佐敷支店事務所移転（芦北郡佐敷町佐敷下
町 280 番地の 1）
- 36・1 全国信用金庫連合会の代理業務開始
- 36・4 計石出張所開設
- 37・7 津奈木支店新築移転（芦北郡津奈木町岩城
字浜崎 2090-1）
- 38・9 芦北郡田浦町小田浦 1361 番地に田浦支
店を開設

昭和30年代

- 38・10 林業信用基金の代理業務開始
- 39・5 八代市、人吉市、八代郡、球磨郡へ地区拡張
- 39・5 日本不動産銀行の代理業務開始
- 40・4 松尾角蔵理事長辞任。藤本光男理事長就任
- 40・9 丸島支店事務所新築落成
- 40・10 八代市本町 2 丁目 5 番 27 号に八代支店開
設
- 40・12 小規模企業共済事業団の代理業務開始
- 41・10 田浦支店事業所新築移転（芦北郡田浦町大
字小田浦字洲崎 787-27）
- 42・4 建築業退職金共済組合の代理業務開始
- 42・9 みなしん杉の子会発足
- 42・10 人吉市五日町 23 番地に人吉支店開設
- 43・2 環境衛生金融公庫の代理業務開始
日本長期信用銀行の代理業務開始
- 43・5 住宅金融公庫の代理業務開始
渡辺太賀次、社団法人全国信用金庫協会理
事に就任（～50・3）
- 45・1 計石出張所廃止
- 45・4 八代市通町 7 番 11 号に八代出町支店を開
設
- 45・6 宇土市、宇土郡、上益城郡、下益城郡へ地
区拡張
- 46・6 人吉支店事務所新築移転（人吉市五日町 28
番地の 2）
- 46・11 有明信用金庫と合併。名称を熊本中央信用
金庫に変更。地区も天草、阿蘇、菊池郡市
及び鹿本郡の一部を除く県下一円となり、
店舗も玉名支店、伊倉支店、西部支店、長
洲支店、荒尾支店、中央支店が加わり、
14 ヶ店となる。会長渡辺太賀次、理事長藤
本光男就任
- 46・11 預金量 100 億円達成
- 47・5 八代支店事務所新築移転（八代市本町 3 丁
目 5 番 23 号）
- 47・6 熊本市中唐人町 1 番地に熊本支店を開設
- 47・9 菊池郡市へ地区拡張
- 48・4 中央支店新築移転（荒尾市川登字辰崩
1868 番地 4）
- 48・9 医療金融公庫の代理業務開始
- 48・10 創立 50 周年記念式典
鹿児島県出水郡長島町へ地区拡張
- 49・11 日本銀行歳入代理店業務取扱い開始
- 50・2 清水支店開設
- 51・12 平田支店開設
- 53・9 帯山支店開設
- 54・5 預金量 500 億円達成

昭和40年代



昭和 40 年代の通帳証書



昭和50年代

- 54・2 大江支店開設
- 55・5 前田止理事長就任
- 55・6 本店新築開設（熊本市大江本町）。旧本店を水俣支店に名称変更。熊本支店を唐人町支店に名称変更。大江支店廃止
- 56・3 全店オンライン加盟完了
- 56・4 新本店の建物が、熊本市優秀建築物として表彰
- 57・9 大牟田市へ地区拡張
- 59・2 両替業務開始
- 59・5 前田止、社団法人全国信用金庫協会理事に就任。（～63・8）
- 59・12 健軍支店開設
- 61・1 新大江支店開設
- 61・10 錦支店開設
- 62・7 玉名支店新築オープン
- 62・12 預金量 1,000 億円達成
- 63・5 第三次オンライン開始
- 63・8 岡本三壽男理事長就任

平成

- 元・2 信用金庫の完全週休 2 日制スタート
- 2・6 岱明支店開設
- 3・2 サンデーバンキング開始
- 3・5 伊倉支店新築オープン
- 3・7 松江支店開設
- 4・9 水俣支店新築オープン
- 5・5 山口逸雄理事長就任
湯浦出張所開設
- 5・11 創立 70 周年記念式典
岡本三壽男元理事長が「黄綬褒章」受章
- 8・6 戸島支店開設
- 8・10 唐人町支店を本店へ統合
- 9・5 前田米藏理事長就任
- 10・7 梅林文洋理事長就任
- 10・9 年金相談会開始
- 10・10 健軍支店を本店営業部に統合
- 11・3 郵貯 ATM 提携開始
- 11・6 信金テレホンバンキングサービス開始
第 2 回信用金庫社会貢献賞特別賞受賞
デビットカード取扱開始
- 12・3 しんきんゼロネットサービス開始
- 12・12 しんきんゼロネットサービス開始
- 13・1 投資信託窓口販売業務開始
- 13・3 スポーツ振興くじ払戻し業務開始

平成

平成10年代

- 13・4 損害保険窓口販売業務開始
- 13・6 均等推進企業熊本労働局長賞受賞
- 14・4 藤本正明理事長就任
- 14・10 生命保険窓口販売業務開始
インターネットバンキング業務開始
- 15・3 個人向け国債取扱い開始
- 15・10 丸島支店を水俣支店へ、新大江支店を本店営業部に統合
- 15・11 山口康博理事長就任
- 15・12 創立 80 周年
- 16・10 ビジネスマッチング交流会開催
- 18・6 淵上健一理事長就任
- 18・8 コラボ産学官熊本支部設立
- 20・3 渉外支援システム導入
- 21・6 学資保険、標準傷害保険取扱い開始
- 22・9 熊本県内 4 信用金庫合同第一回しんきん個別商談会 I N熊本開催
- 23・10 田浦支店、湯浦出張所を佐敷支店へ統合
岱明支店を西部支店へ統合
- 24・6 沼田雄一理事長就任
- 24・11 山口康博元理事長が「瑞宝双光章」を受章
- 25・7 ロアッソ熊本への協賛
- 25・10 創立 90 周年記念式典・特別講演会
- 25・11 八代支店新築オープン
- 26・2 葦北鉄砲隊の活動支援を開始
- 26・4 淵上健一元理事長が「旭日双光章」を受章
- 26・10 「くまもと夢の物産市」を初開催
- 27・3 「くまもと県南フードバレーフェスタ」を初開催
- 28・4 熊本地震発生
- 28・11 熊本県から「ブライツ企業」の認定を受ける
- 29・4 中央支店新築オープン
- 29・8 中央支店に電子記帳台を導入
- 30・9 熊本ヴォルターズへの協賛

平成20年代

令和

- 令和
元・11 通町支店を八代支店へ統合
- 2・5 預金量 2,000 億円達成
- 2・6 岡本浩幸理事長就任
- 2・7 熊本豪雨発生
- 2・11 沼田雄一元理事長が「黄綬褒章」を受章
- 3・1 火の国サラムンダーズへの協賛
- 3・11 人吉支店リニューアルオープン
- 5・2 玉名支店を西部支店内に移転（店舗内店舗）



水俣信用金庫時代のチラシ



昭和34年頃「定期預金抽選会」

